

すくわくプログラム推進事業実践報告書

所在地	東京都新宿区戸山 2-34-101
施設名	ChaCha Children Higashitoyama

1. 活動のテーマ

<テーマ>

多文化共生

<テーマの設定理由>

エリアの特性から様々な国の子どもと一緒に過ごしていることから世界に対する興味・関心を広げる活動が充実している

2. 活動スケジュール

4月テーマ『Help each other』 ガーナの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
5月テーマ『Sharing is caring』 アルゼンチンの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
6月テーマ『Critical Thinkers』 アイルランドの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
7月テーマ『Own your actions』 インドの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
8月テーマ『Big rewards』 デンマークの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
9月テーマ『Winning together』 アメリカの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
10月テーマ『So many faces』 メキシコの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う
11月テーマ『Being Thankful』 ベトナムの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う

12 月テーマ『Building Bridges』アイスランドの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う

1 月テーマ『Race Againsts the Clock』オーストラリアの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う

2 月テーマ『Musical and Collaboration 』ジャマイカの文化に合わせたゲームを通してテーマにそった活動を行う

3 月テーマ『Review 』1 年間でテーマにした国について振り返り、子どもたちからリクエストのあったゲームを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

プロジェクター、スクリーン、紙コップ、洗濯ばさみ、ボール、カスタネット、リボン、画用紙、ゴム、絵の具、玉入れの玉、フラフープ、 バケツ、縄跳び

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【多文化に触れる】

毎回設定されたテーマや国について外国人講師の話す内容を聞いたり、イラストから理解したり、会話の内容を繰り返すことで他国の文化、言語や価値観に触れ、親しむ。

【コミュニケーション】

様々な国の文化や生活スタイルの特徴に合わせた簡単なゲームやアクティビティを通じて、外国人講師と英語で触れ合い、友達とゲームや会話を楽しみながらコミュニケーションをとる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

振り付きで歌ったり、毎月 1 つの国について英語を通してダンスや歌・ゲームなどを行うことで知識を深めていた。アルゼンチンの国には山がたくさんあり山に登ると喉が渇くのでチームプレーのゲームで「water please」「here you are」「thank you」を使い友だちや保育士と水をコップで隣の人のコップに水を移し（ばけつリレーのように）リレーをした。回数を重ねるごとに英語がスムーズに出て、口ずさむことが多くなった。保育士が散歩時など別の機会に単語を使っても英語で帰ってくることが多くなった。活動中の保育士は、見守ることやなるべく日本語を使わなかった。どうしてもわからない時は簡単な単語や日本語を伝え単語と動きを繋げることでこれからに生きてくるようにした。



5. 振り返り

年齢毎に実施し、それぞれの年齢に合わせた内容で取り組むことができたので回数を重ねるごとに外国人講師に慣れ、子どもたちが積極的に交流できた。

自分たちが普段話している言語とは違っても、友達とコミュニケーションをとり、自分たちの身の回りにあるものを使ってゲームを楽しむことで、自然に協調性が育まれ、多文化に興味関心をもつことができた。